

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもひろばポーポーの木なかの		公表日		令和6年12月25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	2
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	1	職員は適切に配置しています。	配置数は適切であるが利用者の状況に応じて職員を充実させていきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	5	賃貸物件の為、設備の改修等には限りがありますが、必要に応じて対応しています。	バリアフリー化は今後の課題です。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	1	日頃の清掃に加え、エアコンなどは業者に委託して行っている。	継続していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	1	クールダウンする等別室が用意されている。	改善箇所があれば、随時見直しをしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		1	4	メールや職員間でのグループラインを活用している。	全職員に徹底される様取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	1	職員間のミーティングで行っている。	改善点は、保護者のご意見も取り入れて見直していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	1	活動内容など一人に任せきりにせず、協力して行ったり改善点などを話し合っている。	職員間での情報共有は常に意識して取り組みます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	4	現在は行っていません。	今後の課題とします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		2	2	例年、外部研修、内部研修の機会を設け実施しています。現在はオンラインも活用した研修を実施しています。	資質向上の研修の機会の増加に取り組みます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	1	作成、公表予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6	0	日々の療育から、しっかりアセスメントを行い、個別に課題を設定し計画書を作成しています。	今後も主に送迎時や家庭連携をさせて頂く際にお話させて頂き、情報を共有させていただければと思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	0	常にこどもファーストの考えで一人一人の特性に合った支援を考え、実践している。	利用者ごとの気づきなど全職員からの意見を取り入れています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	1	営業時間中は、職員がいつでも閲覧できる環境があります。	引き続き計画書に沿った支援ができる様に情報共有を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	1	療育日誌を活用したアセスメントも行っている。	今後もフォーマル、インフォーマルのアセスメントを行っていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		3	1	個別支援計画書に掲載しておりますが、地域支援・地域交流が苦慮しています。	地域支援、地域連携の充実は今後の課題です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	1	職員間でバランスを見ながら決定している。	意見を交換できる場を増やし、チーム全体の意見を活動プログラムに取り入れていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		7	0	職員の意見や利用者の意見も取り入れ利用者が主体となって意見をまとめて決定したり、ポーポーの他事業所の活動も参考に取り入れながら取り組んでいます。	療育目標を明確化し、分かりやすい活動プログラムを作成し充実した活動が提供できるよう内容も工夫していきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別では、専門的支援プログラムも活用しております。	引き続き、個別活動と集団活動が充実したものにできるように職員で意見を出し合い改善に取り組んで参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	前日にメールにて翌日の一覧を全職員が確認。活動内容や、役割も把握できるようにしています。	打ち合わせに参加できない職員について、全員が周知できるように、議事録や口頭での申し送りを徹底してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	特変や反省点等あれば、その日の内に話し合い、必要な対応を行い、翌日の申し送りで伝えています。	引き続き、議事録や口頭での申し送りを徹底します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	療育日誌や専門的支援の記録は日々行い検証、改善につなげている。	引き続き、療育日誌を作成し細かい情報は口頭で伝え情報の共有を図り支援の検証・改善に努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	基本的には、半年に一度、モニタリングを実施し、職員間で意見を出し合い作成しています。	引き続き、職員間で意見を出し合い計画を見直し、適切な支援を行えるように取り組んで参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	地域交流の活動が弱い面がある。	今後、地域交流の方法など工夫していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	基本的にはこどもたちの意見も取り入れ、臨機応変に対応している。	引き続きこどもたちの意見を尊重しながら自己決定できる環境を整えます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	職員間で子どもの情報を共有し、会議には主に責任者が参加しています。	引き続き、取り組んで参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	担当者会議等で情報交換をし助言等、受けています。	引き続き、連携を図り支援の改善に繋がっていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	送迎時に担任の先生と何かあれば情報を共有している。	引き続き、連携体制を維持し、密に連携が図れるように努めて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	新一年生の受け入れの際には、必要に応じて関係機関との連携を取らせていただいています。	こども園等との情報共有は今後の課題でもあります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	事例はないが、情報等は整理保管されております。	該当のお子様には、障害福祉サービス事業所への移行に向けて、保護者様、学校、相談支援専門員に情報提供できる体制を整えます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	担当者会議で情報交換をし助言等、受けています。	引き続き、連携を図り支援の改善に繋がっていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	他のお子様と一緒に活動する事はほとんどありませんでした。	今後の課題とします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	現在参加していません。	今後の課題とします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	主に送迎時に状況や課題をお伝えし情報共有をしています。また、責任者・管理者から電話で相談させて頂くこともあります。	引き続き、送迎時等、定期的に情報交換をする時間を設け保護者様のニーズに沿った計画者を作成してまいります
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	現在行っていません。	今後の課題とします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学、契約時に書面及び口頭にて説明しています。	引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者の方とは主に送迎時、こどもとは終わりの会などで意見を聞くようにしています。	引き続き、継続してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援内容を説明し、同意のサインを頂いている。	引き続き丁寧な説明を行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	主に送迎時に互いに情報共有することがあれば行い、必要に応じて助言もおこなう。	相談等ございましたら、相談支援専門員と連携を図り対応し、その問題・課題に沿った療育、支援を行っているように努めて参ります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	現在行っていません。	今後の課題とします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった場合、責任者、管理者に連絡後、その日のうちに対応しています。	引き続き、情報を共有する事で特定の職員のみ判断や偏った対応とならないよう徹底し、迅速に対応して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動に関しては写真やポーポー通信、活動日より、ホームページにて情報を発信しています。	引き続き、月に一度活動状況等の情報を更新していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人ファイル等は鍵のあるキャビネットで保管しています。	引き続き個人情報の取り扱いには注意して参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	必要に応じて、絵カードなども活用して意思伝達の配慮を行っている。	引き続き、お子様の様子について、より詳しくお伝えしていけるように取り組んで参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	現在、行われておりません。	フラダンスを地域の公民館などで発表する場はあるが、十分ではない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定しています。	各マニュアルの再調整と共に、保護者様への周知を徹底して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に、避難訓練を行っております。	引き続き、色々な災害を想定した訓練を実施し、訓練の回数を増やす事も検討していきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に各種情報を頂き、確認している。	引き続き継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者の方と情報を共有し対応しています。	引き続き、取り組んで参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全管理に必要な研修、訓練は行われています。	引き続き継続していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	安全計画に基づく取組内容の家族への周知はまだ不十分です。	ご家族への周知も行きわたる様取り組みます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	職員間で共有し、再発防止に役立てている。	引き続き、記録を行い、全職員が情報共有し、支援の改善に繋げて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会の分科会研修を実施しており、職員の意識を統一しています。	虐待防止研修を実施し、職員の意識も高めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束防止委員会で話し合われている。	身体拘束防止研修を実施し、職員の意識も高めていきます。	